

土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(~~路盤~~)) の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(<del>路盤</del>)) の試行要領【受注者希望型】</p> <p>(趣旨)</p> <p><b>第 1 条</b> この要領は、土木部が発注する工事において、「 I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(<del>路盤</del>)) 【受注者希望型】」(以下、「 I C T 舗装工(<del>路盤</del>) 」という。) を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>( I C T 活用工事)</p> <p><b>第 2 条</b> I C T 舗装工(<del>路盤</del>)</p> <p><b>第 3 条</b> とは、以下に示す施工プロセス (①～④) において I C T を活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1) ～<del>2</del>) の方法により 3 次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での 3 次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <del>その他の 3 次元計測技術による</del></p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3 次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、 3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で<del>得られた 3 次元設計データまたは施工用に</del>作成した 3 次元データを<del>用いて、下記 1) ～2)</del>に示す<del>技術</del>( I C T 建設機械)<del>により</del>施工を実施する。</p> <p>(追加)</p> <p><del>1) 3 次元</del></p> <p><del>マシンコントロール (モーターグレーダ) 技術</del></p> <p><del>2) 3 次元マシンコントロール (ブルドーザ) 技術</del></p> <p>④</p>	<p>土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工) の試行要領【受注者希望型】</p> <p>(趣旨)</p> <p><b>第 1 条</b> この要領は、土木部が発注する工事において、「 I C T 活用工事 ( I C T 舗装工) 【受注者希望型】」(以下、「 I C T 舗装工 」という。) を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>( I C T 活用工事)</p> <p><b>第 2 条</b> I C T 舗装工とは、以下に示す施工プロセス (①～⑤) において I C T を活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1) ～ 4) の方法により 3 次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での 3 次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>3) T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) T S (ノンプリズム方式) を用いた起工測量</p> <p>② 3 次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、 3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で作成した 3 次元設計データを<del>用い、</del>以下 1) ) に示す I C T 建設機械により施工を実施する。<del>位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、</del>国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和 7 年 3 月 3 1 日 国土交通省告示第 2 4 0 号）付録 1 測量機器検定基準 2－6 の性能における検定基準を満たすこと。</p> <p>1) 3 次元 MC 建設機械</p> <p>※MC：「マシンコントロール」の略称</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する 3 次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。</p> <p>但し、現場条件により、 I C T 建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤)) の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>3次元出来形管理資料等の作成</p> <p><del>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>&lt;出来形管理&gt;</p> <p><del>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p>2) <del>その他の3次元計測技術による</del>出来形管理技術</p> <p><del>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</del></p> <p>(追加)</p> <p>出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、<del>従来手法で</del>の出来形管理を行ってもよい。</p> <p>⑤<del>出来形確認及び検査</del></p> <p><del>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</del></p> <p>⑥納品</p> <p>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T 舗装工(路盤)の実施にあたり、施工プロセス (①～⑥) のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。</p> <p>なお、プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則</p>	<p>督職員との協議の上、部分的に従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>(削除)</p> <p>③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。</p> <p>&lt;出来形管理&gt;</p> <p>(削除)</p> <p>(1) 出来形管理出来形管理にあたっては、出来形管理図表(ヒートマップ)を作成し、出来形の良否を判定する管理手法(面管理)とし、以下1)～2)から選択(複数以上可)して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1 m 間隔以下(1 点/㎡以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)～2)を原則とするが、現場条件等により以下3)～4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。(ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3) T S 等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>4) T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理</p> <p>また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択しても I C T 活用工事とする。</p> <p>⑤</p> <p>(削除)</p> <p>納品</p> <p>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T 舗装工の実施にあたり、施工プロセス (①～⑤) のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。</p> <p>なお、プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤)) の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定																		
<p>複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>3 総合評価落札方式（施工計画評価型・施工能力評価型）において、加点対象となるのは、第 2 条に示す全ての施工プロセス（①～④）において I C T を活用する場合に限る。</p> <p>（対象とする工事）</p> <p>第 4 条 I C T 舗装工(路盤)は、下記工種を含む全ての発注工事を対象とする。ただし、I C T 活用工事（I C T 舗装工(路盤)）【発注者指定型】の対象とする工事は除く。</p> <table><caption>表 1 I C T 舗装工(路盤)の対象工種種別</caption><tr><th>工事区分</th><th>工種</th><th>種別</th></tr><tr><td>・舗装工 ・水門</td><td>舗装工</td><td>・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr><tr><td>・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td>付帯道路工</td><td>・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工</td></tr></table> <p>2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>（試行対象工事の調査）</p> <p>第 5 条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>（発注）</p> <p>第 6 条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</p> <p>2 発注機関は、試行対象工事の発注に当たり、入札公告に I C T 舗装工(路盤)の対象とすることを明示するとともに、特記仕様書を添付し、発注手続きを行うこととする。</p> <p>（I C T 活用工事の実施手続）</p> <p>第 7 条 I C T 舗装工(路盤)の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（I C T 活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、I C T 舗装工(路盤)を実施することができる。</p> <p>2 I C T 舗装工(路盤)として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができる。</p> <p>（設計変更）</p>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工	<p>複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>3 総合評価落札方式（施工計画評価型・施工能力評価型）において、加点対象となるのは、第 2 条に示す全ての施工プロセス（①～⑤）において I C T を活用する場合に限る。</p> <p>（対象とする工事）</p> <p>第 3 条 I C T 舗装工は、下記工種を含む全ての発注工事を対象とする。ただし、I C T 活用工事（I C T 舗装工）【発注者指定型】の対象とする工事は除く。</p> <table><caption>表 1 I C T 舗装工の対象工種種別</caption><tr><th>工事区分</th><th>工種</th><th>種別</th></tr><tr><td>・舗装工 ・水門</td><td>舗装工</td><td>・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr><tr><td>・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td>付帯道路工</td><td>・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工</td></tr></table> <p>2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>（試行対象工事の調査）</p> <p>第 4 条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>（発注）</p> <p>第 5 条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</p> <p>2 発注機関は、試行対象工事の発注に当たり、入札公告に I C T 舗装工の対象とすることを明示するとともに、特記仕様書を添付し、発注手続きを行うこととする。</p> <p>（I C T 活用工事の実施手続）</p> <p>第 6 条 I C T 舗装工の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（I C T 活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、I C T 舗装工を実施することができる。</p> <p>2 I C T 舗装工として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができる。</p> <p>（設計変更）</p>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工																	
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工																	

土木部発注工事における ICT 活用工事（ICT 舗装工(路盤)）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定															
<p><b>第 8 条</b> 発注者は、 I C T舗装工(<del>路盤</del>)の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成、 I C T施工および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>（工事成績）</p> <p><b>第 9 条</b> I C T舗装工(<del>路盤</del>)を第 2 条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。</p> <p>なお、施工プロセスを選択して実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p>（追加）</p> <p>（監督・検査）</p> <p><b>第 1 0 条</b> I C T舗装工(<del>路盤</del>)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、<del>国土交通省が定めた表 2「I C T舗装工(路盤)に関する基準」により行う</del>ものとする。</p> <table><tr><th colspan="3">表 2—I C T舗装工(路盤)に関する基準</th></tr><tr><td rowspan="5">工 施</td><td>1</td><td><del>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</del></td></tr><tr><td rowspan="4">検 査</td><td>2</td><td><del>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</del></td></tr><tr><td>3</td><td><del>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del></td></tr><tr><td>4</td><td><del>T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del></td></tr><tr><td>5</td><td><del>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del></td></tr></table> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>附 則</p> <p>この要領は、平成 30 年 8 月 1 日から施行する。</p> <p>平成 31 年 3 月 29 日改定（平成 31 年 4 月 1 日適用）</p> <p>令和元年 8 月 22 日改定（令和元年 9 月 1 日適用）</p> <p>令和 2 年 6 月 22 日改定（令和 2 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 3 年 6 月 28 日改定（令和 3 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 4 年 9 月 15 日改定（令和 4 年 10 月 1 日適用）</p> <p>令和 5 年 9 月 26 日改定（令和 5 年 10 月 1 日適用）</p>	表 2—I C T舗装工(路盤)に関する基準			工 施	1	<del>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</del>	検 査	2	<del>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</del>	3	<del>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>	4	<del>T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>	5	<del>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>	<p><b>第 7 条</b> 発注者は、 I C T舗装工の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成、 I C T施工および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>（工事成績）</p> <p><b>第 8 条</b> I C T舗装工を第 2 条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。</p> <p>なお、施工プロセスを選択して実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p>（アンケート調査）</p> <p><b>第 9 条</b> 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> <p>（監督・検査）</p> <p><b>第 9 条</b> I C T舗装工を実施した場合の対象工種の監督・検査については、以下の国土交通省が定める関連要領等の令和 7 年 1 0 月 1 日時点のものを適用するものとする。</p> <p>（削除）</p> <p>※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より） <a href="https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html">https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</a></p> <p>附 則</p> <p>この要領は、平成 30 年 8 月 1 日から施行する。</p> <p>平成 31 年 3 月 29 日改定（平成 31 年 4 月 1 日適用）</p> <p>令和元年 8 月 22 日改定（令和元年 9 月 1 日適用）</p> <p>令和 2 年 6 月 22 日改定（令和 2 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 3 年 6 月 28 日改定（令和 3 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 4 年 9 月 15 日改定（令和 4 年 10 月 1 日適用）</p> <p>令和 5 年 9 月 26 日改定（令和 5 年 10 月 1 日適用）</p> <p>令和 7 年 9 月 30 日改定（令和 7 年 10 月 1 日適用）</p>
表 2—I C T舗装工(路盤)に関する基準																
工 施	1	<del>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</del>														
	検 査	2	<del>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</del>													
		3	<del>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>													
		4	<del>T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>													
		5	<del>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>													



土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】</p> <p>(趣旨)</p> <p><b>第 1 条</b> この要領は、土木部が発注する工事において、「 I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤))【発注者指定型】」(以下、「 I C T 舗装工(路盤)」という。)を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>( I C T 活用工事)</p> <p><b>第 2 条</b> I C T 舗装工(路盤)とは、以下に示す全ての施工プロセス (①～④)において I C T を活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1) ～ 2) の方法により 3 次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での 3 次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <del>その他の 3 次元計測技術による</del></p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3 次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p><del>②で得られた 3 次元設計データまたは施工用に作成した 3 次元データを用いて、下記 1) ～ 2) に示す技術 ( I C T 建設機械) により施工を実施する。</del></p> <p>(追加)</p> <p><del>1) 3 次元</del></p> <p><del>マシンコントロール (モーターグレーダ) 技術</del></p> <p><del>2) 3 次元マシンコントロール (ブルドーザ) 技術</del></p> <p>④</p>	<p>土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工)の試行要領【発注者指定型】</p> <p>(趣旨)</p> <p><b>第 1 条</b> この要領は、土木部が発注する工事において、「 I C T 活用工事 ( I C T 舗装工)【発注者指定型】」(以下、「 I C T 舗装」という。)を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>( I C T 活用工事)</p> <p><b>第 2 条</b> I C T 舗装工とは、以下に示す全ての施工プロセス (①～⑤)において I C T を活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1) ～ 4) の方法により 3 次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での 3 次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>3) T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) T S (ノンプリズム方式)を用いた起工測量</p> <p>② 3 次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で作成した 3 次元設計データを用い、以下 1) に示す I C T 建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則 (令和 7 年 3 月 3 1 日 国土交通省告示第 2 4 0 号) 付録 1 測量機器検定基準 2 － 6 の性能における検定基準を満たすこと。</p> <p>1) 3 次元 MC 建設機械</p> <p>※ MC : 「マシンコントロール」の略称</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する 3 次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。</p> <p>但し、現場条件により、 I C T 建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>3次元出来形管理資料等の作成</p> <p><del>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>&lt;出来形管理&gt;</p> <p><del>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p>2) <del>その他の3次元計測技術による</del>出来形管理技術</p> <p><del>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</del></p> <p>(追加)</p> <p>出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、<del>従来手法で</del>の出来形管理を行ってもよい。</p> <p>⑤出来形確認及び検査</p> <p><del>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</del></p> <p>⑥納品</p> <p>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>(対象とする工事)</p> <p>第3条 I C T舗装工(路盤)の試行対象工事は、<del>各発注機関が選定する。</del></p> <p><del>2</del> <del>選定にあたっては、</del>舗装面積(路盤工)2,000m2以上の下記工種を含む発注工事を対象とする。</p>	<p>督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。</p> <p>④3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。</p> <p>&lt;出来形管理&gt;</p> <p>(削除)</p> <p>(1)出来形管理出来形管理にあたっては、出来形管理図表(ヒートマップ)を作成し、出来形の良否を判定する管理手法(面管理)とし、以下1)～2)から選択(複数以上可)して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下(1点/㎡以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)～2)を原則とするが、現場条件等により以下3)～4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。(ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること)</p> <p>1)地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>2)地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3)T S等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>4)T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理</p> <p>また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもI C T活用工事とする。</p> <p>⑤</p> <p>(削除)</p> <p>納品</p> <p>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>(対象とする工事)</p> <p>第3条 I C T舗装工は、舗装面積(路盤工)2,000m2以上の下記工種を含む発注工事を対象とする。</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事 ( I C T 舗装工(路盤)) の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定																		
<div>表 1 I C T 舗装工(路盤)の対象工種種別</div> <table><tr><th>工事区分</th><th>工種</th><th>種別</th></tr><tr><td>・舗装工 ・水門</td><td>舗装工</td><td>・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr><tr><td>・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td>付帯道路工</td><td>・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工</td></tr></table> <div>3 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</div> <div>（試行対象工事の調査）</div> <div>第 4 条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</div> <div>（発注）</div> <div>第 5 条 発注に当たっての積算基準は、別途定める「土木工事標準積算基準書」により、I C T 施工にかかる経費を計上する。<div>2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告に I C T 舗装工(路盤)であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。</div></div> <div>（設計変更）</div> <div>第 6 条 発注者は、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3 次元起工測量・3 次元設計データ作成および 3 次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</div> <div>（工事成績）</div> <div>第 7 条 I C T 舗装工(路盤)を第 2 条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で 2 点の加点評価するものとする。<div>なお、監督員との協議の上、出来形管理を従来手法で実施した場合は 1 点を加点するものとする。</div></div> <div>（追加）</div> <div>（追加）</div> <div>（監督・検査）</div> <div>第 8 条 I C T 舗装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表 2「I C T 舗装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。</div>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工	<div>表 1 I C T 舗装工の対象工種種別</div> <table><tr><th>工事区分</th><th>工種</th><th>種別</th></tr><tr><td>・舗装工 ・水門</td><td>舗装工</td><td>・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr><tr><td>・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td>付帯道路工</td><td>・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工</td></tr></table> <div>3 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</div> <div>（試行対象工事の調査）</div> <div>第 4 条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</div> <div>（発注）</div> <div>第 5 条 発注に当たっての積算基準は、別途定める「土木工事標準積算基準書」により、I C T 施工にかかる経費を計上する。<div>2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告に I C T 舗装工(であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。</div></div> <div>（設計変更）</div> <div>第 6 条 発注者は、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3 次元起工測量・3 次元設計データ作成および 3 次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</div> <div>（工事成績）</div> <div>第 7 条 I C T 舗装工を第 2 条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で 2 点の加点評価するものとする。<div>なお、監督員との協議の上、出来形管理を従来手法で実施した場合は 1 点を加点するものとする。</div></div> <div>（アンケート調査）</div> <div>第 8 条 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</div> <div>（監督・検査）</div> <div>第 8 条 I C T 舗装工を実施した場合の対象工種の監督・検査については、以下の国土交通省が定める関連要領等の令和 7 年 1 0 月 1 日時点のものを適用するものとする。</div>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工																	
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工																	

土木部発注工事における ICT 活用工事 ( ICT 舗装工(路盤) ) の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行		改 定											
<p>表 2—I C T 舗装工(路盤)に関する基準</p> <table><tr><td rowspan="5">検 査</td><td>1</td><td><del>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</del></td></tr><tr><td>2</td><td><del>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</del></td></tr><tr><td>3</td><td><del>T S 等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del></td></tr><tr><td>4</td><td><del>T S （ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del></td></tr><tr><td>5</td><td><del>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del></td></tr></table> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>附 則</p> <p>この要領は、平成 30 年 8 月 1 日から施行する。</p> <p>令和 31 年 3 月 29 日改定（平成 31 年 4 月 1 日適用）</p> <p>令和元年 8 月 22 日改定（令和元年 9 月 1 日適用）</p> <p>令和 2 年 6 月 22 日改定（令和 2 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 3 年 6 月 28 日改定（令和 3 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 4 年 9 月 15 日改定（令和 4 年 10 月 1 日適用）</p> <p>令和 5 年 9 月 26 日改定（令和 5 年 10 月 1 日適用）</p> <p>(追加)</p>		検 査	1	<del>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</del>	2	<del>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</del>	3	<del>T S 等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>	4	<del>T S （ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>	5	<del>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>	<p>(削除)</p> <p>※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より）</p> <p><a href="https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html">https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</a></p> <p>附 則</p> <p>この要領は、平成 30 年 8 月 1 日から施行する。</p> <p>令和 31 年 3 月 29 日改定（平成 31 年 4 月 1 日適用）</p> <p>令和元年 8 月 22 日改定（令和元年 9 月 1 日適用）</p> <p>令和 2 年 6 月 22 日改定（令和 2 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 3 年 6 月 28 日改定（令和 3 年 7 月 1 日適用）</p> <p>令和 4 年 9 月 15 日改定（令和 4 年 10 月 1 日適用）</p> <p>令和 5 年 9 月 26 日改定（令和 5 年 10 月 1 日適用）</p> <p>令和 7 年 9 月 30 日改定（令和 7 年 10 月 1 日適用）</p>
検 査	1		<del>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</del>										
	2		<del>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</del>										
	3		<del>T S 等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>										
	4		<del>T S （ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>										
	5	<del>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</del>											



I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 (路盤) ) に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 (路盤) ) に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 (路盤) )」(以下、「I C T 舗装工 (路盤)」という)の対象とすることができる。</p> <p><b>第 1 I C T 活用工事の推進</b></p> <p>1－1 I C T 舗装工 (路盤) とは、以下に示す施工プロセス (①～④) において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1) ～<del>2)</del> の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。<del>なお、その際は監督職員と協議すること。</del></p> <p><del>1)</del></p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p><del>2) その他の3次元計測技術による</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記 1) ～<del>2)</del> に示す技術 ( I C T 建設機械) により施工を実施する。</p> <p>1) 3次元マシンコントロール (<del>モーターグレーダ</del>) 技術</p> <p>2) 3次元マシンコントロール (<del>ブルドーザ</del>) 技術</p> <p>④</p> <p>(追加)</p> <p>3次元出来形管理資料等の作成</p>	<p>I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 ) に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 )」(以下、「I C T 舗装工」という)の対象とすることができる。</p> <p><b>第 1 I C T 活用工事の推進</b></p> <p>1－1 I C T 舗装工とは、以下に示す施工プロセス (①～⑤) において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1) ～ 8) の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 空中写真測量 (無人航空機) による起工測量</p> <p>2) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>3) T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) T S (ノンプリズム方式) を用いた起工測量</p> <p>5) R T K－G N S S を用いた起工測量</p> <p>6) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>7) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>8) 音響測深機器を用いた起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記 1) ～ 4) に示す技術 ( I C T 建設機械) により施工を実施する。</p> <p>1) 3次元マシンコントロール (ブルドーザ) 技術</p> <p>2) 3次元マシンコントロール (バックホウ) 技術</p> <p>3) 3次元マシンガイダンス (ブルドーザ) 技術</p> <p>4) 3次元マシンガイダンス (バックホウ) 技術</p> <p>※現場条件により、③ I C T 建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は発注者との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとし、その場合も I C T 活用工事とするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p>

I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 (路盤) ) に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p><del>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</del></p> <p><del>＜</del></p> <p>出来形管理➤</p> <p><del>下記1) ～ 2) のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</del></p> <p><del>1)</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p><del>2) その他の3次元計測技術による出来形管理技術</del></p> <p><del>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</del></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、従来手法での出来形管理を行ってもよい。</p> <p>⑤出来形確認及び検査</p> <p><del>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であることを検査する。</del></p> <p>⑥</p> <p>(追加)</p>	<p>③による工事の施工管理において、以下（１）（２）に示す方法により、出来形管理及び品質管理を実施する。</p> <p>（１）出来形管理</p> <p>(削除)</p> <p>出来形管理にあたっては、出来形管理図表（ヒートマップ）を作成し、出来形の良否を判定する管理手法（面管理）とし、以下１）～４）から選択（複数選択可）して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1 m間隔以下（1 点/㎡以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、土工における出来形管理にあたっては、以下１）～４）を原則とするが、現場条件等により以下５）～９）の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。（ただし以下５）～９）の出来形管理を選択して面管理を実施した場合は「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること）</p> <p>１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>５）T S等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>６）T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理</p> <p>７）R T K－G N S Sを用いた出来形管理</p> <p>８）施工履歴データを用いた出来形管理</p> <p>９）音響測深機器を用いた出来形管理</p> <p>なお、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、発注者との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもI C T活用工事とする。</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>（２）品質管理</p> <p>品質管理にあたっては、受注者は、土工の品質管理（締固め度）について、「T S・G N S Sを用いた盛土の締固め管理要領」により実施する。砂置換法又はR I 計法との併用による二重管理は実施しないものとする。</p>

I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 (路盤) ) に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>納品</p> <p>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 受注者は I C T 舗装工 <u>(路盤)</u> を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までに I C T 活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、 I C T 舗装工 <u>(路盤)</u> を行うことができる。</p> <p>1－3 1－1 施工プロセスに示す①～④について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。</p> <p>なお、受注者は施工プロセス（①～④）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>1－4 受注者は、付帯構造物設置工に I C T 活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い。協議が整った場合に I C T 活用工事を実施することができる。</p> <p>1－5 施工を実施するために使用する I C T 機器類は、受注者が調達するものとする。</p> <p>1－6 施工に必要な I C T 舗装工 <u>(路盤)</u> 用のデータは、受注者が作成するものとする。</p> <p>1－7 I C T 舗装工 <u>(路盤)</u> に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。また、I C T 付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員との協議の上、設計変更の対象とする。</p> <p>1－8 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに 3 次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3 次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3 次元設計データチェックシート」を活用し、3 次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－9 I C T 舗装工 <u>(路盤)</u> を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p>	<p>なお、本施工着手前及び盛土材料の土質が変わるごと、また、路体と路床のように品質管理基準が異なる場合に試験施工を行い、本施工で採用する締固め回数を設定すること。</p> <p>土質が頻繁に変わりその都度試験施工を行うことが非効率である等、施工規定による管理そのものがなじまない場合は、発注者と協議の上、T S ・ G N S S を用いた締固め回数管理を適用しなくてもよいものし、その場合も I C T 活用工事とする。</p> <p>⑤納品</p> <p>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 受注者は I C T 舗装工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までに I C T 活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、 I C T 舗装工を行うことができる。</p> <p>1－3 1－1 施工プロセスに示す①～⑤について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。</p> <p>なお、受注者は施工プロセス（①～⑤）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>1－4 受注者は、付帯構造物設置工に I C T 活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い。協議が整った場合に I C T 活用工事を実施することができる。</p> <p>1－5 施工を実施するために使用する I C T 機器類は、受注者が調達するものとする。</p> <p>1－6 施工に必要な I C T 舗装工 <u>用</u> のデータは、受注者が作成するものとする。</p> <p>1－7 I C T 舗装工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。また、I C T 付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員との協議の上、設計変更の対象とする。</p> <p>1－8 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに 3 次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3 次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3 次元設計データチェックシート」を活用し、3 次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－9 I C T 舗装工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p>

I C T 活用工事 ( I C T 舗装工 (路盤) ) に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定												
<div>第2 監督・検査について</div> <div>I C T舗装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「I C T舗装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。</div> <div><div>表1—I C T舗装工(路盤)に関する基準</div><table><tr><td>施 工</td><td>1</td><td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</td></tr><tr><td rowspan="4">検 査</td><td>2</td><td>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</td></tr><tr><td>3</td><td>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</td></tr><tr><td>4</td><td>T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</td></tr><tr><td>5</td><td>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</td></tr></table><div>(追加)</div><div>(追加)</div></div> <div>第3 納品について</div> <div>国土交通省が定めた「I C T舗装工(路盤)に関する基準」において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</div> <div>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</div> <div>第4 アンケート調査について</div> <div>受注者は、I C T舗装工(路盤)を実施した場合、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</div>	施 工	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編	検 査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）	3	T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）	4	T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）	<div>第2 監督・検査について</div> <div>I C T舗装工を実施した場合の対象工種の監督・検査の関連要領等については、令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</div> <div>(削除)</div> <div>※関連要領等（要領関係等（ICTの全面的な活用）国土交通省HPより） <a href="https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html">https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</a></div> <div>第3 納品について</div> <div>国土交通省が定めた基準において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</div> <div>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</div> <div>第4 アンケート調査について</div> <div>受注者は、I C T舗装工を実施した場合、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</div>
施 工	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編											
検 査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）											
	3	T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）											
	4	T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）											
	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）											



I C T活用工事( I C T舗装工(路盤) )に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>I C T活用工事( I C T舗装工(路盤) )に関する特記仕様書【発注者指定型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C Tの全面的活用を図るため、3次元データを活用する「I C T活用工事(I C T舗装工(路盤))」(以下、「I C T舗装工(路盤)」という)である。</p> <p>第1 I C T活用工事の推進を図るための措置</p> <p>1－1 I C T舗装工(路盤)とは、以下に示す全ての施工プロセス(①～④)においてI C Tを活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1)～2)の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。<del>なお、その際は監督職員と協議すること。</del></p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <del>その他の3次元計測技術による</del></p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T建設機械による施工</p> <p>②で<del>得られた3次元設計データまたは施工用に</del>作成した3次元データを<del>用いて、下記1)～2)</del>に示す<del>技術( I C T建設機械)</del>により施工を実施する。</p> <p>(追加)</p> <p>1) 3次元マシンコントロール<del>(モーターグレーダ)技術</del></p> <p><del>2) 3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術</del></p> <p>④</p>	<p>I C T活用工事( I C T舗装工)に関する特記仕様書【発注者指定型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C Tの全面的活用を図るため、3次元データを活用する「I C T活用工事(I C T舗装工)」(以下、「I C T舗装工」という)である。</p> <p>第1 I C T活用工事の推進を図るための措置</p> <p>1－1 I C T舗装工とは、以下に示す全ての施工プロセス(①～⑤)においてI C Tを活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1)～4)の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>3) T S等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) T S (ノンプリズム方式)を用いた起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T建設機械による施工</p> <p>②で作成した3次元設計データを<del>用い、</del>以下1)に示すI C T建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則(令和7年3月31日 国土交通省告示第240号)付録1測量機器検定基準2－6の性能における検定基準を満たすこと。</p> <p>1) 3次元MC建設機械</p> <p>※MC:「マシンコントロール」の略称</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。</p> <p>但し、現場条件により、I C T建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監</p>



I C T活用工事( I C T舗装工(路盤) )に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>3次元出来形管理資料等の作成</p> <p><del>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</del></p> <p>(追加)</p> <p>＜出来形管理＞</p> <p><del>下記 1) ～ 2) のいずれかの技術を用いた</del>出来形管理</p> <p><del>を行う</del>ものとする。</p> <p>(追加)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p>2) <del>その他の3次元計測技術による</del>出来形管理技術</p> <p><del>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</del></p> <p>(追加)</p> <p>、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、<del>従来手法で</del>の出来形管理を行ってもよい。</p> <p>⑤出来形確認及び検査</p> <p><del>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であることを検査する。</del></p> <p>④納品</p> <p>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 1－1 施工プロセスに示す①～④において、測量や施工の実施手段及び対象範囲を平面図等により監督員と協議するものとする。</p> <p>1－3 受注者は、付帯構造物設置工に I C T活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い、協議を整った場合に I C T活用工事を実施することができる。</p>	<p>督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。</p> <p>＜出来形管理＞</p> <p>(1) 出来形管理</p> <p>出来形管理にあたっては、出来形管理図表（ヒートマップ）を作成し、出来形の良否を判定する管理手法（面管理）とし、以下1)～2)から選択（複数以上可）して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1 m間隔以下（1 点/m<sup>2</sup>以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)～2)を原則とするが、現場条件等により以下3)～4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。（ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること）</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3) T S等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>4) T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理</p> <p>また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択しても I C T活用工事とする。</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>⑤納品</p> <p>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 1－1 施工プロセスに示す①～④において、測量や施工の実施手段及び対象範囲を平面図等により監督員と協議するものとする。</p> <p>1－3 受注者は、付帯構造物設置工に I C T活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い、協議を整った場合に I C T活用工事を実施することができる。</p>

I C T活用工事( I C T舗装工(路盤) )に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定												
<div>1－4 施工を実施するために使用する I C T機器類は、受注者が調達するものとする。</div> <div>1－5 施工に必要な I C T舗装(路盤)工用のデータは受注者が作成するものとする。</div> <div>1－6 I C T舗装工(路盤)に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。 また、I C T付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</div> <div>1－7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</div> <div>1－8 工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</div> <div>第2 監督・検査について</div> <div>I C T舗装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「I C T舗装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。</div> <div>表1—I C T舗装工(路盤)に関する基準</div> <table><tr><td rowspan="5">施 工</td><td>1</td><td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編</td></tr><tr><td rowspan="4">検 査</td><td>2</td><td>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）</td></tr><tr><td>3</td><td>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</td></tr><tr><td>4</td><td>T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</td></tr><tr><td>5</td><td>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）</td></tr></table> <div>(追加)</div> <div>(追加)</div> <div>第3 納品について</div> <div>国土交通省が定めた「I C T舗装工(路盤)に関する基準」において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</div> <div>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</div> <div>第4 アンケート調査について</div> <div>受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</div>	施 工	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編	検 査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）	3	T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）	4	T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）	<div>1－4 施工を実施するために使用する I C T機器類は、受注者が調達するものとする。</div> <div>1－5 施工に必要な I C T舗装工用のデータは受注者が作成するものとする。</div> <div>1－6 I C T舗装工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。また、I C T付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</div> <div>1－7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</div> <div>1－8 工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</div> <div>第2 監督・検査について</div> <div>I C T舗装工を実施した場合の対象工種の監督・検査の関連要領等については、令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</div> <div>(削除)</div> <div>※関連要領等（要領関係等（ICTの全面的な活用）国土交通省 HP より） <a href="https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html">https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</a></div> <div>第3 納品について</div> <div>国土交通省が定めた基準において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</div> <div>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</div> <div>第4 アンケート調査について</div> <div>受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</div>
施 工		1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編										
		検 査	2		地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）（案）								
			3		T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）								
			4	T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）									
	5		地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（舗装工事編）										

I C T活用工事( I C T舗装工(路盤) )に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p><b>第5 現場見学会の実施について</b></p> <p>I C T活用工事の推進を目的として、現場見学会を実施する場合、受注者は見学会の開催に協力するものとする。</p>	<p><b>第5 現場見学会の実施について</b></p> <p>I C T活用工事の推進を目的として、現場見学会を実施する場合、受注者は見学会の開催に協力するものとする。</p>

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行				改 定																																																			
<div>平成〇年〇月〇日 工 事 名：〇〇〇〇〇〇工事 受注会社名：〇〇〇建設（株）</div> <div>I C T活用工事計画書</div> <p>当該工事において活用する技術について、「採用する技術番号」欄に該当建設生産プロセスの作業内容ごとに採用する技術番号を記載する。また、建設生産プロセスの各段階において、現場条件により I C Tによる施工が適当でない箇所を除く施工範囲の全てで活用する場合は、左端のチェック欄に「<input checked="" type="checkbox"/>」と記入する。</p> <table><thead><tr><th>建設生産プロセスの段階</th><th>作業内容</th><th>採用する 技術番号</th><th>技術番号・技術名</th></tr></thead><tbody><tr><td><input type="checkbox"/> ① 3次元起工測量</td><td></td><td></td><td>1 空中写真測量（無人航空機）による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> ② 3次元設計用 データ作成</td><td></td><td></td><td>※ 3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。</td></tr><tr><td rowspan="10"><input type="checkbox"/> ③ I C T建設機械による 施工 ※ 当該工事に含まれる右 記作業の全てで活用する 場合に「<input checked="" type="checkbox"/>」と記入</td><td><input type="checkbox"/> 掘削工</td><td></td><td rowspan="10">1 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 5 3次元マシンコントロール（モーターグレーダ）技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 盛土工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路体盛土工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路床盛土工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 法面整形工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 作業土工(床版)</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路床安定処理工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 表層安定処理工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 固結工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路盤工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 切削・パブリ工</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"><input type="checkbox"/> ④ 3次元出来形管理資料 の作成 ⑤ 出来形確認及び検査 ※ 同上</td><td><input type="checkbox"/> 出来形</td><td></td><td>1 空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 品質</td><td></td><td>T S ・ G N S Sによる範囲内回敷管理技術</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> ⑥ 納品</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>注1） I C T活用工事の詳細については、特記仕様書によるものとする。</p>						建設生産プロセスの段階	作業内容	採用する 技術番号	技術番号・技術名	<input type="checkbox"/> ① 3次元起工測量			1 空中写真測量（無人航空機）による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量	<input type="checkbox"/> ② 3次元設計用 データ作成			※ 3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。	<input type="checkbox"/> ③ I C T建設機械による 施工 ※ 当該工事に含まれる右 記作業の全てで活用する 場合に「 <input checked="" type="checkbox"/> 」と記入	<input type="checkbox"/> 掘削工		1 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 5 3次元マシンコントロール（モーターグレーダ）技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム	<input type="checkbox"/> 盛土工		<input type="checkbox"/> 路体盛土工		<input type="checkbox"/> 路床盛土工		<input type="checkbox"/> 法面整形工		<input type="checkbox"/> 作業土工(床版)		<input type="checkbox"/> 路床安定処理工		<input type="checkbox"/> 表層安定処理工		<input type="checkbox"/> 固結工		<input type="checkbox"/> 路盤工		<input type="checkbox"/> 切削・パブリ工			<input type="checkbox"/> ④ 3次元出来形管理資料 の作成 ⑤ 出来形確認及び検査 ※ 同上	<input type="checkbox"/> 出来形		1 空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術	<input type="checkbox"/> 品質		T S ・ G N S Sによる範囲内回敷管理技術	<input type="checkbox"/> ⑥ 納品				<div>削除</div>	
建設生産プロセスの段階	作業内容	採用する 技術番号	技術番号・技術名																																																				
<input type="checkbox"/> ① 3次元起工測量			1 空中写真測量（無人航空機）による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量																																																				
<input type="checkbox"/> ② 3次元設計用 データ作成			※ 3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。																																																				
<input type="checkbox"/> ③ I C T建設機械による 施工 ※ 当該工事に含まれる右 記作業の全てで活用する 場合に「 <input checked="" type="checkbox"/> 」と記入	<input type="checkbox"/> 掘削工		1 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 5 3次元マシンコントロール（モーターグレーダ）技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム																																																				
	<input type="checkbox"/> 盛土工																																																						
	<input type="checkbox"/> 路体盛土工																																																						
	<input type="checkbox"/> 路床盛土工																																																						
	<input type="checkbox"/> 法面整形工																																																						
	<input type="checkbox"/> 作業土工(床版)																																																						
	<input type="checkbox"/> 路床安定処理工																																																						
	<input type="checkbox"/> 表層安定処理工																																																						
	<input type="checkbox"/> 固結工																																																						
	<input type="checkbox"/> 路盤工																																																						
<input type="checkbox"/> 切削・パブリ工																																																							
<input type="checkbox"/> ④ 3次元出来形管理資料 の作成 ⑤ 出来形確認及び検査 ※ 同上	<input type="checkbox"/> 出来形		1 空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術																																																				
	<input type="checkbox"/> 品質		T S ・ G N S Sによる範囲内回敷管理技術																																																				
<input type="checkbox"/> ⑥ 納品																																																							

## I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																				
	<div data-bbox="1637 403 1760 424" style="text-align: right;">(令和7年10月～)</div> <div data-bbox="1341 432 1713 469" style="text-align: center;">ICT活用工事 協議書 一覧表</div> <div data-bbox="1366 477 1688 499" style="text-align: center;">各工種をクリックすると、該当するシートに繋がります</div> <table border="1" data-bbox="1305 526 1760 842"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>工 種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td><a href="#">土工</a></td></tr> <tr> <td>2</td><td><a href="#">舗装工</a></td></tr> <tr> <td>3</td><td><a href="#">構築工(鉄筋)</a></td></tr> <tr> <td>4</td><td><a href="#">河川浚渫工</a></td></tr> <tr> <td>5</td><td><a href="#">地盤改良工</a></td></tr> <tr> <td>6</td><td><a href="#">法面工</a></td></tr> <tr> <td>7</td><td><a href="#">構築物工</a></td></tr> <tr> <td>8</td><td><a href="#">作業土工(床敷工)</a></td></tr> <tr> <td>9</td><td><a href="#">付帯構築物工</a></td></tr> </tbody> </table>	番号	工 種	1	<a href="#">土工</a>	2	<a href="#">舗装工</a>	3	<a href="#">構築工(鉄筋)</a>	4	<a href="#">河川浚渫工</a>	5	<a href="#">地盤改良工</a>	6	<a href="#">法面工</a>	7	<a href="#">構築物工</a>	8	<a href="#">作業土工(床敷工)</a>	9	<a href="#">付帯構築物工</a>
番号	工 種																				
1	<a href="#">土工</a>																				
2	<a href="#">舗装工</a>																				
3	<a href="#">構築工(鉄筋)</a>																				
4	<a href="#">河川浚渫工</a>																				
5	<a href="#">地盤改良工</a>																				
6	<a href="#">法面工</a>																				
7	<a href="#">構築物工</a>																				
8	<a href="#">作業土工(床敷工)</a>																				
9	<a href="#">付帯構築物工</a>																				



## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]



# ICT活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定												
	<div data-bbox="1238 379 1825 1220"> <div data-bbox="1413 408 1675 432">ICT活用工事 協議書(法面工)</div> <div data-bbox="1469 437 1597 456">(工事名:○○○○工事)</div> <div data-bbox="1700 379 1825 395">図号:○○○○</div> <div data-bbox="1700 461 1825 477">会社名:○○○○建設株式会社</div> <div data-bbox="1238 491 1825 544"> <p>当書は、以下に示す内容に基づいて、工務所が作成した。更に、本協議書は、関係者の作業内容等に適用され、関係者間で取り決められたものである。</p> <p>本工事は、○○○○建設株式会社が、○○○○建設株式会社の指示により、○○○○建設株式会社の指示に従って実施される。本協議書は、関係者の作業内容等に適用され、関係者間で取り決められたものである。</p> </div> <table border="1" data-bbox="1238 544 1825 1209"> <thead> <tr> <th data-bbox="1238 544 1400 568">現行計画書の記載</th><th data-bbox="1400 544 1825 568">改定計画書の記載</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1238 568 1400 727">1. 工事概要</td><td data-bbox="1400 568 1825 727"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.2 工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.3 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.4 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.5 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.6 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.7 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.8 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.9 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.10 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> </ul> </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 727 1400 775">2. 工事実施計画</td><td data-bbox="1400 727 1825 775"> <p>2.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>2.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 775 1400 839">3. 工事実施計画(法人様向け)</td><td data-bbox="1400 775 1825 839"> <p>3.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>3.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 839 1400 1209">4. 工事実施計画(法人様向け)</td><td data-bbox="1400 839 1825 1209"> <ul style="list-style-type: none"> <li>4.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.3 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.4 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.5 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.6 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.7 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.8 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.9 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.10 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> </ul> <p>4.11 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.12 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.13 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.14 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.15 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.16 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.17 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.18 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.19 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.20 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 1209 1400 1220">5. 協議書</td><td data-bbox="1400 1209 1825 1220"></td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1238 1209 1597 1220"> <p>注1: 本協議書は、関係者の作業内容等に適用され、関係者間で取り決められたものである。</p> </div> <div data-bbox="1503 1310 1559 1329"> <p>図 1.1</p> </div>	現行計画書の記載	改定計画書の記載	1. 工事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.2 工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.3 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.4 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.5 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.6 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.7 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.8 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.9 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.10 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> </ul>	2. 工事実施計画	<p>2.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>2.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p>	3. 工事実施計画(法人様向け)	<p>3.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>3.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p>	4. 工事実施計画(法人様向け)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.3 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.4 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.5 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.6 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.7 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.8 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.9 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.10 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> </ul> <p>4.11 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.12 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.13 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.14 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.15 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.16 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.17 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.18 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.19 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.20 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p>	5. 協議書	
現行計画書の記載	改定計画書の記載												
1. 工事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.2 工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.3 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.4 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.5 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.6 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.7 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.8 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.9 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>1.10 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> </ul>												
2. 工事実施計画	<p>2.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>2.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p>												
3. 工事実施計画(法人様向け)	<p>3.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>3.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p>												
4. 工事実施計画(法人様向け)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4.1 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.2 工事実施計画(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.3 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.4 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.5 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.6 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.7 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.8 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.9 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> <li>4.10 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</li> </ul> <p>4.11 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.12 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.13 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.14 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.15 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.16 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.17 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.18 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.19 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p> <p>4.20 法人様向け工事概要(法人様向け)を、以下の通り記載する。</p>												
5. 協議書													

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行		改 定	
		<div style="text-align: right;">【付録6】</div> <div style="text-align: center;">ICT活用工事 協議書(構造物工)</div> <div style="text-align: center;">(工事名:○○○○工事)</div> <div style="text-align: right;">会社名:○○○○建設(株)</div> <p>本協定書は、当協会の会員である「協定する技術者等」相互間の建設作業の円滑な実施を図る目的で、技術・経験について共通認識を醸成し、定めた協定書である。</p> <p>また、建設生産プロセス改革の観点から、ICTによる施工管理の高度化を図る目的で、協定する技術者等が、協会の定めるICT活用ルールを遵守することとする。</p>	
A	① 協会の名称	協会の名称	1 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設 2 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設 3 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設 4 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設 5 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設 6 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設 7 協会の名称(法人名称等) 会社名:○○○○建設
	② 協会の設立目的	協会の設立目的	1 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設 2 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設 3 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設 4 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設 5 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設 6 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設 7 協会の設立目的(法人名称等) 会社名:○○○○建設
	③ 協会の設立経緯	協会の設立経緯	1 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設 2 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設 3 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設 4 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設 5 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設 6 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設 7 協会の設立経緯(法人名称等) 会社名:○○○○建設
B	④ 協会の組織体制	協会の組織体制	1 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設 2 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設 3 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設 4 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設 5 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設 6 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設 7 協会の組織体制(法人名称等) 会社名:○○○○建設
C	⑤ 協会の業務内容	協会の業務内容	1 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設 2 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設 3 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設 4 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設 5 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設 6 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設 7 協会の業務内容(法人名称等) 会社名:○○○○建設
D	⑥ 協会のその他事項	協会のその他事項	1 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設 2 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設 3 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設 4 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設 5 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設 6 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設 7 協会のその他事項(法人名称等) 会社名:○○○○建設

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行				改 定
様式－1 ①				
(空中写真測量（無人航空機）)				
令和〇年〇月〇日				
工 事 名：〇〇〇〇〇〇工事				
受注会社名：〇〇〇建設（株）				
3次元設計データチェックシート				
項目	対象	内容	チェック 結果	
1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？		
		工事基準点の名称は正しいか？		
		座標は正しいか？		
2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？		
		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？		
		曲線要素の種別・数値は正しいか？		
		各測点の座標は正しいか？		
3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？		
		縦断変化点の測点、標高は正しいか？		
		曲線要素は正しいか？		
4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？		
		基準高、幅、法長は正しいか？		
5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？		
			削除	



ICT活用工事計画書 新旧対照表

現 行		改 定																																													
<div>様式－1②</div> <div>(レーザースキャナー)</div> <div>令和〇年〇月〇日</div> <div>工 事 名：〇〇〇〇〇〇工事</div> <div>受注会社名：〇〇〇建設（株）</div> <div>3次元設計データチェックシート</div> <table><tr><th>項目</th><th>対象</th><th>内 容</th><th>チェック 結果</th></tr><tr><td rowspan="3">1) 基準点及び 工事基準点</td><td rowspan="3">全点</td><td>監督員の指示した基準点を使用しているか？</td><td></td></tr><tr><td>工事基準点の名称は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">2) 平面線形</td><td rowspan="4">全延長</td><td>起終点の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>変化点（線形主要点）の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>曲線要素の種別・数値は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>各測点の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">3) 縦断線形</td><td rowspan="3">全延長</td><td>線形起終点の測点、標高は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>縦断変化点の測点、標高は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>曲線要素は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">4) 出来形横断面 形状</td><td rowspan="3">全延長</td><td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？</td><td></td></tr><tr><td>基準高、幅、法長は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>出来形計測対象点の記号が正しく付与できて いるか？</td><td></td></tr><tr><td>5) 3次元 設計データ</td><td>全延長</td><td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？</td><td></td></tr></table>				項目	対象	内 容	チェック 結果	1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？		工事基準点の名称は正しいか？		座標は正しいか？		2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？		曲線要素の種別・数値は正しいか？		各測点の座標は正しいか？		3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？		縦断変化点の測点、標高は正しいか？		曲線要素は正しいか？		4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？		基準高、幅、法長は正しいか？		出来形計測対象点の記号が正しく付与できて いるか？		5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？		<div>削除</div>	
項目	対象	内 容	チェック 結果																																												
1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？																																													
		工事基準点の名称は正しいか？																																													
		座標は正しいか？																																													
2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？																																													
		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？																																													
		曲線要素の種別・数値は正しいか？																																													
		各測点の座標は正しいか？																																													
3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？																																													
		縦断変化点の測点、標高は正しいか？																																													
		曲線要素は正しいか？																																													
4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？																																													
		基準高、幅、法長は正しいか？																																													
		出来形計測対象点の記号が正しく付与できて いるか？																																													
5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？																																													

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定
	<div>参考資料</div> <div>設計データチェックシート</div> <div><div>参考資料 1 3次元設計データチェックシート (Type A) ..... 1</div><div>参考資料 2 3次元設計データチェックシート (Type-B) ..... 2</div><div>参考資料 3 3次元設計データチェックシート (Type-C) ..... 3</div><div>参考資料 4 3次元設計データチェックシート (Type-D) ..... 4</div><div>参考資料 5 3次元設計データチェックシート (Type-E) ..... 5</div><div>参考資料 6 3次元設計データチェックシート (Type-F) ..... 6</div><div>参考資料 7 基本設計データチェックシート (Type-A) ..... 7</div><div>参考資料 8 基本設計データチェックシート (Type-B) ..... 8</div><div>参考資料 9 建築改良設計データチェックシート (Type-A) ..... 9</div><div>参考資料 10 建築改良設計データチェックシート (Type-B) ..... 10</div><div>参考資料 11 内装工設計データチェックシート ..... 11</div><div>参考資料 12 ジョイント設計データチェックシート ..... 12</div></div>

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-1 3次元設計データチェックシート〔Type-A〕

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 者 名:

作 成 者:

57

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
1) 所準と及び工事基準	全案	・式安欄(1)の指定した基準を参照しているか？ ・工事基準の名称は正しいか？ ・定数は正しいか？ ・数値の単位は正しいか？	
2) 平面図形	全延長	・変位点(接点・交点)が四角に正しいか？ ・曲線要素の定数・半径は正しいか？ ・各測定の距離は正しいか？	
3) 縦断図形	全延長	・路線(道路)の起点、終点は正しいか？ ・断面変位点の位置、位置は正しいか？ ・断面変位は正しいか？	
4) 出土形断面図	全延長	・作成した山形断面図の断面、数値は正しいか？ ・基準値、四、断面は正しいか？	
5) 3次元設計データ	全延長	・入力した2)～4)の図面形式と出力する3次元設計データは同一となっているか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記すこと。

※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”を記すこと。

2

# I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料 2 3次元設計データチェックシート (Type B)

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 者 名:

作 成 者 名:

印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック 結果
1) 所収内容及び 工事概要等	全図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要図号の指示した基準図を使用しているか?</li> <li>・工事概要等のもとは正しいか?</li> <li>・単位に正しいか?</li> </ul>	
2) 平面図等	全図面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配筋図の点検は正しいか?</li> <li>・配筋図 (鉄筋主筋等) の仕様は正しいか?</li> <li>・自動配筋の繰入・省略は正しいか?</li> <li>・巻取図の巻取は正しいか?</li> </ul>	
3) 縦断図等	全図面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦断図は正しいか? 標高は正しいか?</li> <li>・自動巻入は正しいか?</li> </ul>	
4) 土木計算書等 取付	全図面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えた計算書等と取付の図面、表は一致するか?</li> <li>・他、決まっているか?</li> </ul>	
5) 3次元設計 データ	全図面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力した2)～4)の各図面と、1)とする3次元設計データは同一となっているか?</li> </ul>	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”と記すこと。

※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“/”と記すこと。

2

# I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料 3 3次元設計データチェックシート [Type G]

〔様式〕

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上 学 名: \_\_\_\_\_  
学 校 名: \_\_\_\_\_  
作 成 者: \_\_\_\_\_ 印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	データ品質
1) 断面図及び平面図等	全図	<ul style="list-style-type: none"><li>・断面図等の描画した基準点を検出しているか？</li><li>・工事現場等の実測値と正しいか？</li><li>・図面に正しいか？</li></ul>	
2) 平面図等	全図	<ul style="list-style-type: none"><li>・点群データの検出は正しいか？</li><li>・変位点（変位点）の検出は正しいか？</li><li>・変位点の検出・検出は正しいか？</li><li>・変位点の検出は正しいか？</li></ul>	
3) 断面図等	全図	<ul style="list-style-type: none"><li>・断面図等の検出・検出は正しいか？</li><li>・断面図等の検出・検出は正しいか？</li><li>・断面図等の検出は正しいか？</li></ul>	
4) 断面図等の図面	全図	<ul style="list-style-type: none"><li>・断面図等の検出・検出は正しいか？</li><li>・断面図等の検出・検出は正しいか？</li></ul>	
5) 3次元設計データ	全図	<ul style="list-style-type: none"><li>・入力した2次元図の検出・検出は正しいか？</li><li>・入力した2次元図の検出・検出は正しいか？</li></ul>	

※1 各チェック項目について、チェック結果は「○」と記すこと。  
※2 図面等のデータ入力の際に、チェック結果欄に「○」と記すこと。

3

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-4 3次元設計データチェックシート [Type-0]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名： \_\_\_\_\_  
 発 注 者 名： \_\_\_\_\_  
 作 成 者 名： \_\_\_\_\_ 57

### 3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック 結果
1) 基礎工及び 工事概要表	監査	・設計図書に示した基準法を引用しているか？ ・工事概要表の基準法は正しいか？ ・内容が正しいか？	
2) 3次元設計 データ	監査	・入力した設計図書と出力するデータの設計データは 同一となっているか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記すこと。  
 ※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”を記すこと。

4



I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-5 3次元設計データチェックシート [Type-C]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上 査 者： \_\_\_\_\_  
受 注 者 名： \_\_\_\_\_  
作 成 者： \_\_\_\_\_ 印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック 結果
1) 基準点及び 上り位置関係	重点	・既設位置が指定した断面位置を伝えているか？	
		・工区断面位置の名称は正しいか？	
		・直線は正しいか？	
		・曲線曲率半径は正しいか？	
9) 断面設定	全線長	・変位表(軌形位置表)の対応は正しいか？	
		・重積乗出の経緯・駅値は正しいか？	
		・各断面の選定は正しいか？	
8) 断面設定	全線長	・橋脚位置(0)断面、橋脚は正しいか？	
		・使用断面位置の関与、断面は正しいか？	
		・非設置区は正しいか？	
4) 市町村界断面 形状	全線長	・指定した市町村界断面位置の関与、断面は正しいか？	
		・断面位置、幅、深さは正しいか？	
6) 3次元設計 データ	全線長	・入力したシート～1)の断面形状データ入力する3次元設計データは同一となっているか？	

※1 各チェックが完了して、チェック結果欄に“○”と記すこと。

※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”と記すこと。

5

## I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-6 3次元設計データチェックシート [Type-F]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 者 名:

作 成 者:

印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
1) 縮尺及び 図素位置	全点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺割合の印付した箇所が全箇所にあるか?</li> <li>・工事位置の表示は正しいか?</li> <li>・寸法は正しいか?</li> </ul>	
2) 平面図形	全図長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷設点の座標は正しいか?</li> <li>・変位量 (変形・変位) の座標は正しいか?</li> <li>・主線要素の長さ・距離は正しいか?</li> <li>・各測点の座標は正しいか?</li> <li>・境界点の座標、座高は正しいか?</li> </ul>	
3) 断面図形	全延長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断面要素の長さ・距離は正しいか?</li> <li>・断面要素の座標、座高は正しいか?</li> </ul>	
4) 川床断面 図式	全延長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工線要素は正しいか?</li> <li>・作成した川床断面図形の適合、取違ひは?</li> <li>・取捨、幅、取捨は正しいか?</li> <li>・掘削方向を示す起終点の座標は正しいか?</li> </ul>	
5) 断面図形	全点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標は正しいか?</li> </ul>	
6) 3次元設計 データ	全図長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力したデータ (座標) の入力が結果が出来形と一致しているか?</li> <li>・入力したデータは、データとなっているか?</li> <li>・データと座標の座標は一致しているか?</li> </ul>	

※1) チェック項目について、チェック結果欄に“○”と記すこと。

※2) 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“\*”と記すこと。

8

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料 7 基本設計データチェックシート [Type-A]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上 委 名 :

受 注 者 名 :

作 成 者 名 :

57

基本設計データチェックシート

項目	主 役	内 容	チェック結果
1) 協議内容 上市委員会	会 長	・ 協賛団体の指定した基準工を採用しているか？ ・ 工事実施内容の整理は正しいか？ ・ 仕様は正しいか？ ・ 規格品の仕様は正しいか？	
2) 平面図面	全 員 長	・ 変位量（橋脚・蓋板）の指定は正しいか？ ・ 橋脚位置の指定・設定は正しいか？ ・ 全断面の仕様は正しいか？	
3) 断面図面	全 員 長	・ 断面図面の指定、指定は正しいか？ ・ 断面図面の指定、指定は正しいか？ ・ 断面図面の指定、指定は正しいか？	
4) 断面図面 断面	全 員 長	・ 作成した断面図面の断面、断面図面 ・ 断面図、断面、断面図面 ・ 断面図、断面、断面図面	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”と記すこと。  
※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“○”と記すこと。

7

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-8 基本設計データチェックシート [Type-B]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 番 号:

作 成 者:

印

基本設計データチェックシート

項 目	対象	内 容	チェック 結果
1) 図書及び 工事記号等	全点	・図面内容の求めた図書等を引用しているか？ ・工事記号等の表記は正しいか？ ・図面は正しいか？	
2) 平面図形	全図面	・配線図の描画は正しいか？ ・変位図（鉛直変位図）の描画は正しいか？ ・断面図の描画・数値は正しいか？ ・各部品の図面は正しいか？ ・断面図の断面、断面は正しいか？	
3) 縦断図形	全図面	・縦断変位図の描画、断面は正しいか？ ・断面図は正しいか？	
4) 断面形 断面図形	全図面	・作成した断面図の断面図の描画、断面は正しいか？ ・断面図の断面は正しいか？ ・断面図の断面は正しいか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記入する。

※2 該当項目のデータが短い場合は、チェック結果欄に“○”を記入する。

※

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-9 地盤改良設計データチェックシート〔Type-A〕

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名: \_\_\_\_\_

受 注 者 名: \_\_\_\_\_

作 成 者: \_\_\_\_\_ 印

地盤改良設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
1) 平面図	全点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤改良工事範囲は正しいか？</li> <li>・区画図・等圧グラフの図付けは正しいか？</li> <li>・管径・ブロックの径・間引き・間隔は正しいか？</li> </ul>	
2) 断面図	全点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての区画間の間隔（間）又は間隔（間）に正しいか？</li> </ul>	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記入すること。  
 ※2 該当項目のデータが入力がない場合は、チェック結果欄に“△”を記入すること。

9

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-10 地盤改良設計データチェックシート〔Type-B〕

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名： \_\_\_\_\_

受 注 者 名： \_\_\_\_\_

作 成 者： \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

地盤改良設計データチェックシート

項目	内容	チェック 結果
1) 計画図	・改良位置 (x座標, y座標) (掘削位置が多数の場合は複数) は正しいか？	
2) 断面図	・改良体断面の位置で掘削位置からの計画断面・改良体断面 部の改良位置が正確に正しいか？ ・掘削位置の位置が正しいか？	
3) 仕様書	・設計データに入力した掘削位置、設計掘削深と合致している か？ (0.01m 以下の場合は) ・設計データに入力した掘削位置、設計掘削深と合致している か？ (サンデコンパクション法の場合)	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記入すること。

※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“\*”を記入すること。

10

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-12 ドレーン等設計データチェックシート

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

主 査 者

監 査 者

作 成 者

印

ドレーン等設計データチェックシート

項目	内容	チェック 結果
1) 平面図	・ドレーン等の位置関係（エントリ、ヤード等）に誤りはないか？	
2) 断面図	・ドレーン等管端部の設置又は掘り直しが元の断面形状を崩していないか？ ・掘り直しの位置関係に誤りはないか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を認めること。

※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“○”を認めること。

12